

## 第8小委員会

技術・家庭  
(家庭分野)

別紙様式 1

観 点	番号 発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	2・東書	第1・2・3学年 家庭分野	家庭・701	新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
取 扱 内 容	<p>○ 家庭分野の目標を達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「A家族・家庭生活」において、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域についての課題を解決する力を養うよう、<u>相手の立場や役割を自分に置き換えて考える活動や、高齢者との関わり方を体験する活動。</u></li> <li>・「B衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、衣食住の生活についての課題を解決する力を養うよう、<u>バランスのよい献立を考える活動や、資源や環境に配慮した「エプロン」や「ペットボトルカバー」などを製作する活動。</u></li> <li>・「C消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養うよう、<u>クレジットカードの三者間契約について理解を深める活動や、消費行動が環境に与える影響を考える活動。</u></li> </ul> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「<u>責任ある消費者になるために</u>」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、SDGsを取り上げ、<u>自分や家族の消費行動が社会に与える影響をまとめるなど</u>、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>			
排 列 ・ 分 量 等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3学年間の学習の見通しを立てさせるため、巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「私たちの生活と家族・家庭の機能」で基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける学習を行った後に、「<u>地域での協働を目指して</u>」で<u>中学生として地域の人々との関わり方について学習する</u>など、系統的・発展的に学習できるような工夫。</li> <li>・「A家族・家庭生活」と「B衣食住の生活」の関連を図り、<u>幼児のためのおやつを考えたり</u>、「A家族・家庭生活」と「C消費生活・環境」の関連を図り、<u>家電製品の購入計画について話し合ったりする</u>など、これまでの学習で身に付けた知識及び技能を生かすことができるような工夫。</li> </ul>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「<u>プロに聞く</u>」「<u>せいかつメモ</u>」などを掲載したり、中学生キャラクターや<u>学習案内キャラクター</u>を活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 学習のまとめりに振り返る「<u>まとめよう</u>」や、学んだことを実生活につなげる「<u>生活に生かそう</u>」を位置付けるなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ <u>幼児の使う小物や食品の概量</u>などの実物大写真を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、<u>QRコードをDマークとして掲載する</u>など、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他	<p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

## 別紙様式 1

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観 点	6・教図	第1・2・3学年 家庭分野	家庭・702	New 技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する
取 扱 内 容	<p>○ 家庭分野の目標を達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「A 家族・家庭生活」において、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域についての課題を解決する力を養うよう、<u>家族の役を演じ、家族とのかかわり方について考える活動や、高齢者の疑似体験をする活動。</u></li> <li>・「B 衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、衣食住の生活についての課題を解決する力を養うよう、<u>中学生の1日分の献立を考える活動や、資源や環境に配慮した「布を用いる製作」について考え工夫する活動。</u></li> <li>・「C 消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養うよう、<u>クレジットカードによる買い物の仕組みについて理解を深める活動や、消費生活が環境に及ぼす影響を考える活動。</u></li> </ul> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、<u>「私たちの消費生活」</u>の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、SDGs を取り上げ、<u>普段の生活において特に重要だと思う目標を考え、グループで話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</u></p>			
排 列 ・ 分 量 等 内 容 の 構 成	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3 学年間の学習の見通しを立てさせるため、巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「家族・家庭の基本的な働き」で基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける学習を行った後に、「地域の人々との協働のために」で<u>地域の人々と協働する方法について学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫。</u></li> <li>・「A 家族・家庭生活」と「B 衣食住の生活」の関連を図り、<u>幼児のおやつを工夫したり「A 家族・家庭生活」と「C 消費生活・環境」の関連を図り、新生活で必要な家電製品等についてレポートにまとめたりするなど、これまでの学習で身に付けた知識及び技能を生かすことができるような工夫。</u></li> </ul>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「<u>センパイに聞こう</u>」「<u>メッセージ</u>」などを掲載したり、中学生キャラクターや教師キャラクターを活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 学習のまとめりごとに<u>自己評価する「ふり返る」</u>や、学んだことを実生活につなげる「<u>学びを生かそう</u>」を位置付けるなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ <u>新生児の手形や身近な食品の概量</u>などの実物大写真を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、<u>QRコード</u>を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他	<p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

## 別紙様式 1

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
取 扱 内 容	9・開隆堂	第1・2・3学年 家庭分野	家庭・703		技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生
排 列 ・ 分 量 等					<p>○ 家庭分野の目標を達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「A家族・家庭生活」において、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域についての課題を解決する力を養うよう、<u>ロールプレイングを通して、家族の気持ちや立場を考える活動や、高齢者の歩行介助を体験する活動。</u></li> <li>・「B衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、衣食住の生活についての課題を解決する力を養うよう、<u>栄養のバランスのとれた1日分の献立を考える活動や、資源や環境に配慮した「リバーシブルバッグ」や「クッションカバー」などを製作する活動。</u></li> <li>・「C消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養うよう、<u>クレジットカードの三者間契約のメリットやデメリットについて理解を深める活動や、消費者の行動が社会や環境に与える影響を考える活動。</u></li> </ul> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「<u>持続可能な社会</u>」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、SDGsを取り上げ、<u>自分たちがどのような取組ができるか話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動</u>が取り上げられている。</p>
使 用 上 の 配 慮 等					<p>○ 「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「<u>先輩からのエール</u>」「<u>豆知識</u>」などを掲載したり、中学生キャラクターや<u>学習案内キャラクター</u>を活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 学習のまとめりごとに<u>基礎・基本の定着を図る「ふり返し」</u>や、学んだことを実生活につなげる「<u>生活にいかそう</u>」を位置付けるなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ <u>子どもの手形・足形や食品群別摂取量のめやすの実物大写真を掲載</u>したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、<u>QRコード</u>を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
そ の 他					○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。